



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 (株)東京放送ホールディングス
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石原 俊爾
 (氏名) 伊藤 博信

TEL 03-3746-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	85,635	△1.6	4,408	8.7	5,722	6.7	2,802	—
25年3月期第1四半期	87,049	9.5	4,055	465.5	5,364	134.7	△3,930	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 11,899百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △6,478百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	18.41	—
25年3月期第1四半期	△25.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	566,757	—	354,408	—	—	59.7
25年3月期	559,626	—	344,473	—	—	58.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 338,619百万円 25年3月期 328,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	172,300	△0.1	3,400	△30.6	4,100	△29.9	1,800	—	11.83
通期	356,000	1.0	16,500	1.9	17,400	△1.5	8,100	△11.7	53.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	190,434,968 株	25年3月期	190,434,968 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	38,226,949 株	25年3月期	38,226,794 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	152,208,068 株	25年3月期1Q	152,209,353 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(株)TBSテレビ第1四半期事業収入の内訳	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本銀行の「金融経済月報」によりますと、日本経済は、輸出や設備投資の持ち直し、消費者マインドの改善を受けた個人消費の底堅さ等を受け、緩やかに回復しつつあります。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高856億3千5百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益44億8百万円（同8.7%増）、経常利益57億2千2百万円（同6.7%増）、四半期純利益28億2百万円（前年同期は39億3千万円の四半期純損失）となりました。

<放送事業セグメント>

放送事業の売上高は529億5千1百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益27億1千7百万円（同67.7%増）となりました。

株式会社TBSテレビの放送事業収入のうち、当第1四半期連結累計期間のタイム収入は208億3千9百万円（前年同期比7.3%減）となりました。ネットタイムのセールスで、前年のドラマ「ブラックボード」や「2012ロンドンオリンピックバレーボール世界最終予選」、サッカー「UEFA EURO2012」といった大型の単発番組に匹敵する規模の単発番組がなかった影響で、前年実績には届きませんでした。一方、スポット収入は224億8千1百万円（同1.0%増）、在京5局間のスポット売上シェアは、前年同期比0.5ポイントアップの19.8%（推計）でした。

TBSテレビの当第1四半期連結累計期間の視聴率は、全日帯が6.2%（前年同期比0.4ポイント減）、ゴールデン帯9.5%（同0.1ポイント増）、プライム帯9.4%（同0.1ポイント減）となりました（ビデオリサーチ調べ）。バラエティ番組では、「爆報！THEフライデー」「ぴったんこカン・カン」「中居正広の金曜日のスマたちへ」は引き続き高い視聴率で安定しております。また、3回目の放送となりました大型プロジェクト番組「音楽の日」（6月29日）は、午後2時から翌朝5時まで13時間を超えるこれまでに最長の放送を実現し、スタジオからそして日本各地からのライブ中継も交えて、「歌の力・音楽の力」をお届けしました。

このほか、本年度の大きな取り組みとして、月に1回程度のスペシャル番組「テレビ未来遺産」をこの4月よりスタートさせ、第一弾「いのちの輝きSP」（4月29日）、第二弾「いのちの輝きSPパート2」（5月22日）に続き、6月19日には「家族のチカラが奇跡を呼ぶ スポーツ“夢”SP」を放送しました。TBS、そしてJNN系列が総力を挙げて「未来へ語り継ぐべき大切なメッセージ」をお伝えしてまいります。

株式会社BS-TBSは、売上高34億1千4百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益6億3千万円（同33.2%増）となりました。タイム収入、スポット収入、ショッピング収入いずれも好調で、売上は堅調に推移しております。また、本年度からは「週刊BS-TBS報道部」「湯のまち放浪記」「日本名曲アルバム」「日本の名峰・絶景探訪」等、内容の濃い、質の高い番組をお送りし、高い評価を得ております。

ラジオ部門では、株式会社TBSラジオ&コミュニケーションズが4月に引き続き、6月の聴取率調査もトップとなり、首都圏において連続72期、12年間にわたって個人聴取率トップの座を守っております。平日午後1時に放送している「たまむすび」が時間帯同率首位となったほか、プロ野球交流戦を中継したナイターも他局を上回る聴取率を記録しました。第1四半期連結累計期間の売上高は27億1千万円（前年同期比4.1%増）、このうち、タイム収入は13億5千6百万円（同5.7%減）、スポット収入は5億8百万円（同11.0%減）と放送収入は減収だったものの、ハウジング等の関連事業収入がこれを補いました。

<映像・文化事業セグメント>

映像・文化事業の売上高は289億7千8百万円（前年同期比1.0%減）、営業損失3千5百万円（前年同期は6億8千3百万円の営業利益）となりました。

催事・興行では、「レオナルド・ダ・ヴィンチ展 天才の肖像」が約26万人を集めたほか、ステージ関係では、6月に熊川哲也Kバレエカンパニー「ジゼル」がオーチャードホールなどで上演され好評でした。また、三谷幸喜作・演出「おのれナポレオン」は出演：野田秀樹・天海祐希・山本耕史・内野聖陽ほかという豪華メンバーで上演され、連日大入りでした。興行終盤に天海祐希の急病・休演を宮沢りえが見事カバーしたことも話題となりました。

映画事業は、4月公開の映画「図書館戦争」（主演：岡田准一・榮倉奈々ほか）が、のべ135万人の動員と興収約17億円に達する好成績でした。

メディアビジネス関連では、昨年10月に開局した「TBSチャンネル2」は約106万件的契約世帯数を記録し、4月は吉永小百合、5月は沢田研二出演ドラマと、TBSらしいラインナップで人気チャンネルとなっております。

「TBSオンデマンド」では開始以来初めて、地上波のゴールデン・プライム帯の連続ドラマをすべて見逃し配信致しました。DVD事業では、1月から放送されたドラマ「とんび」のDVD/BDが6月末に発売されて、大ヒットしております。音楽ソフトでは、「EXILE ATSUSHI PREMIUM LIVE ～命をうたう～」が4月に発売され、人気タイトルとしての評価を得ております。

海外事業については、「加トちゃんケンちゃんごきげんテレビ」の「おもしろビデオコーナー」、「SASUKE」

の実写版・フォーマット販売が引き続き好調だったことに加え、「中居正広の金曜日のスマたちへ」も売上増に寄与しました。

この他、スタイリングライフ グループでは、通信販売の「ライトアップショッピングクラブ」で、シニア層をターゲットとした衣料品、雑貨が好調に推移しました。

<不動産事業セグメント>

不動産事業の売上高は37億5百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益17億2千万円（同2.3%減）となりました。

平成20年2月に開業した赤坂サカスですが、各種の興行や「Sacas広場」で開催される様々なイベントを通じて文化・エンタテインメントの発信地としての人気を確立しております。今後もTBSグループや番組をより身近に感じていただくための体験イベントの開催などに加えて、赤坂の街と連動した地域密着イベントにも力を注いでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は5,667億5千7百万円で、前連結会計年度末に比べ71億3千1百万円の増加となりました。現金及び預金、有価証券を合わせた手許資金が33億9千4百万円減少、有形固定資産、無形固定資産が減価償却等により16億6千1百万円減少した一方、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が137億5千7百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,123億4千9百万円で、前連結会計年度末に比べ28億3百万円の減少となりました。保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が48億1百万円増加、送信所移転対策引当金が4億4千2百万円増加した一方、未払法人税等が25億9千4百万円減少、未払費用が21億4千8百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は3,544億8百万円で、前連結会計年度末に比べ99億3千5百万円の増加となりました。四半期純利益の計上や配当金の支払により利益剰余金が差し引き11億2千3百万円増加したことに加え、その他有価証券評価差額金が88億3百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は59.7%、1株当たりの純資産は2,224円72銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、送信所移転対策損失の計上がありました。売上、利益とも、概ね期首の想定範囲内で推移いたしました。

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間、通期ともに、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,243	16,849
受取手形及び売掛金	37,568	35,155
有価証券	—	47,999
商品及び製品	7,174	7,495
番組及び仕掛品	8,149	9,136
原材料及び貯蔵品	581	634
前払費用	6,477	7,147
繰延税金資産	5,044	3,982
その他	6,030	5,980
貸倒引当金	△139	△151
流動資産合計	139,130	134,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	192,312	192,964
減価償却累計額	△85,098	△86,542
建物及び構築物（純額）	107,213	106,421
機械装置及び運搬具	83,518	83,605
減価償却累計額	△74,992	△75,068
機械装置及び運搬具（純額）	8,526	8,537
工具、器具及び備品	24,116	25,065
減価償却累計額	△21,965	△22,444
工具、器具及び備品（純額）	2,150	2,621
土地	84,554	84,490
リース資産	6,625	6,556
減価償却累計額	△3,787	△3,824
リース資産（純額）	2,837	2,731
建設仮勘定	6,748	5,947
有形固定資産合計	212,030	210,751
無形固定資産		
ソフトウェア	4,768	4,760
のれん	22,360	21,959
リース資産	347	304
その他	1,702	1,771
無形固定資産合計	29,178	28,796
投資その他の資産		
投資有価証券	164,463	178,220
長期貸付金	283	267
繰延税金資産	1,706	1,727
長期前払費用	949	879
その他	12,613	12,611
貸倒引当金	△728	△726
投資その他の資産合計	179,286	192,980
固定資産合計	420,496	432,527
資産合計	559,626	566,757

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,814	33,787
1年内返済予定の長期借入金	31,200	31,200
未払金	11,431	9,466
未払法人税等	3,982	1,387
未払消費税等	684	659
未払費用	5,761	3,612
役員賞与引当金	191	40
送信所移転対策引当金	1,080	1,522
その他の引当金	1,134	616
その他	5,809	6,525
流動負債合計	96,090	88,818
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	26,000	26,000
退職給付引当金	13,431	13,930
リース債務	1,590	1,455
繰延税金負債	12,681	17,483
その他	15,358	14,662
固定負債合計	119,062	123,530
負債合計	215,152	212,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	60,254	60,254
利益剰余金	228,882	230,005
自己株式	△48,973	△48,973
株主資本合計	295,150	296,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,468	42,271
繰延ヘッジ損益	△46	146
為替換算調整勘定	△106	△71
その他の包括利益累計額合計	33,314	42,346
少数株主持分	16,008	15,788
純資産合計	344,473	354,408
負債純資産合計	559,626	566,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	87,049	85,635
売上原価	60,811	58,653
売上総利益	26,238	26,982
販売費及び一般管理費	22,183	22,573
営業利益	4,055	4,408
営業外収益		
受取利息	16	12
受取配当金	1,539	1,598
持分法による投資利益	—	6
その他	349	313
営業外収益合計	1,904	1,931
営業外費用		
支払利息	333	284
固定資産圧縮損	123	187
固定資産除却損	27	43
持分法による投資損失	4	—
その他	106	101
営業外費用合計	594	617
経常利益	5,364	5,722
特別利益		
固定資産売却益	—	41
関係会社株式売却益	—	6
特別利益合計	—	48
特別損失		
送信所移転対策損失	—	1,100
投資有価証券評価損	8,001	55
特別損失合計	8,001	1,155
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,636	4,614
法人税、住民税及び事業税	832	971
法人税等調整額	279	801
法人税等合計	1,112	1,773
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,748	2,841
少数株主利益	182	39
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,930	2,802

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,748	2,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,782	8,803
繰延ヘッジ損益	62	211
為替換算調整勘定	△9	42
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△2,729	9,057
四半期包括利益	△6,478	11,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,663	11,833
少数株主に係る四半期包括利益	185	65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,908	29,283	3,858	87,049	—	87,049
セグメント間の内部売上高又は振替高	357	1,050	1,686	3,094	△3,094	—
計	54,266	30,333	5,544	90,144	△3,094	87,049
セグメント利益	1,620	683	1,760	4,065	△10	4,055

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,951	28,978	3,705	85,635	—	85,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	394	975	1,410	2,781	△2,781	—
計	53,346	29,954	5,116	88,416	△2,781	85,635
セグメント利益又は損失(△)	2,717	△35	1,720	4,402	6	4,408

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(株)TBSテレビ第1四半期事業収入の内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期 (24.4.1～24.6.30)	当第1四半期 (25.4.1～25.6.30)	増 減		前事業年度 (24.4.1～25.3.31)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
テレビ	47,769	46,168	△1,600	△3.4%	184,247
タイム・番組制作	22,486	20,839	△1,646	△7.3%	88,595
スポット	22,262	22,481	218	1.0%	83,655
その他	3,019	2,847	△172	△5.7%	11,995
事業	6,113	6,591	478	7.8%	26,036
不動産	720	731	11	1.6%	2,887
合計	54,603	53,491	△1,111	△2.0%	213,172